

秋冬だいこん（10月～翌年3月）の需給・価格見通し

1 生産出荷状況

(1) 供給計画

平成20年の秋冬だいこんの供給計画によると、全農が6月に策定した当初計画では、作付面積は対前年99%（系統共販分）であるが、10アール当たりの収量増を見込み、収穫量・出荷量とも101%としたところである。また、9月末策定の確定計画においては、天候不順の影響が一部に見られたが生育は概ね順調として全体・系統共販計とも100%としている。

○当初計画

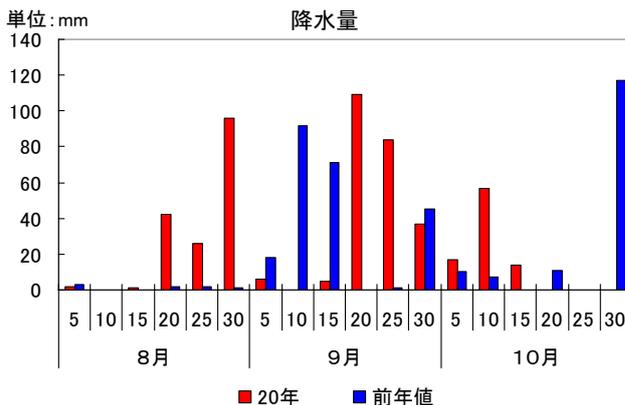
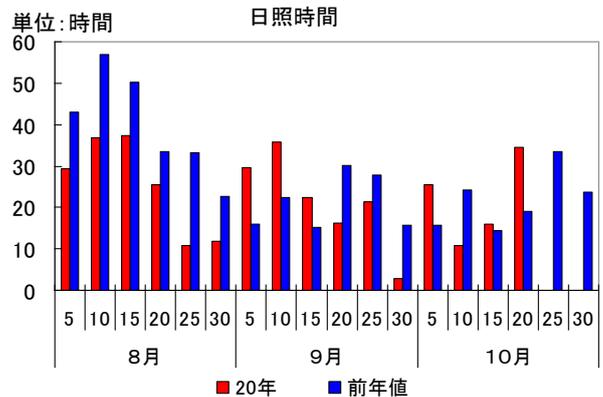
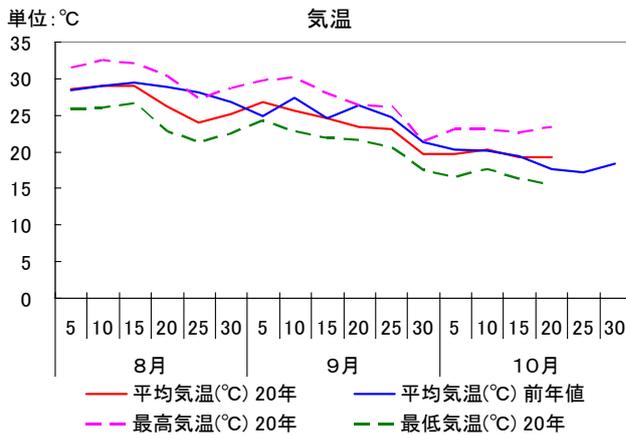
作付面積 (ha)			10a 当たり収量 (kg)			収穫量 (t)			出荷量 (t)		
20年	19年	前年比	20年	19年	前年比	20年	19年	前年比	20年	19年	前年比
4,545	4,594	99	5,857	5,747	102	266,200	264,016	101	240,419	238,393	101

○確定計画

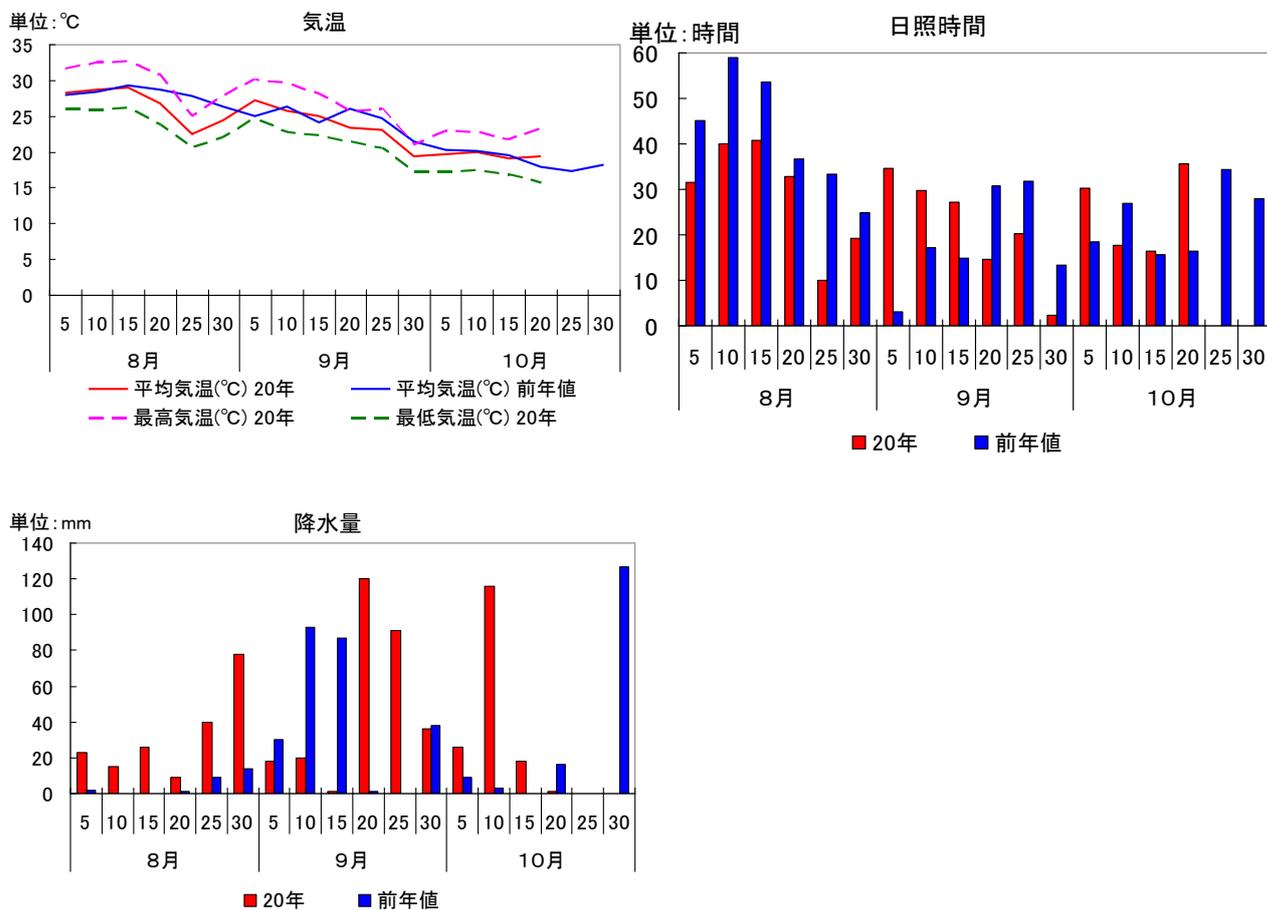
全国出荷量(t)			うち系統出荷量(t)		
20年	19年	前年比	20年	19年	前年比
549,085	548,491	100	220,315	219,621	100

(2) 天候

① 主産地の千葉県の平均気温は、8月半ばまでは上旬に前年並みとなり半ば以降前年を下回って推移し、9月初めに前年を上回ったものの、その後は全体的には前年を下回って推移している。日照時間については、8月は前年を下回り、9月前半は前年を上回った。9月半ば以降は前年を下回り、10月に入り前年を上回る推移となっている。降水量は、9月前半に前年を下回ったものの、全体的には前年を上回った。



② 神奈川県は、8月前半は上旬に前年並みとなり、9月初めに前年を上回ったものの、全体的には前年を下回った。日照時間については、8月は前年を下回り、9月前半は前年を上回った。9月半ば以降は前年を下回り、10月に入り前年を上回って推移している。降水量は、9月前半に前年を下回ったものの、全体的には前年を上回る推移となった。

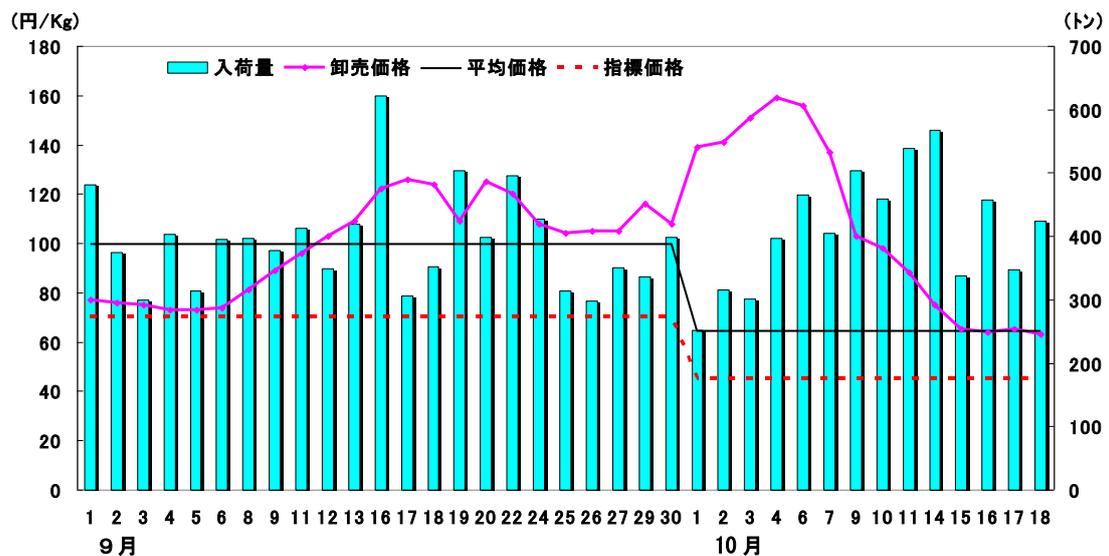


資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料：気象庁「AMeDAS」

(3) 生育・出荷状況及び今後の見通し

- ① 昨年の価格は平年並みであり、作付け意欲に対しては中立的と考えられる。
- ② 供給計画の当初計画では収穫量は対前年比 101%、出荷量は同 101%である。また確定計画の出荷量は対前年比 100%である。
- ③ これまでのところ主産地では天候は良好であり生育は順調である。
- ④ 3か月予報では主産地がある関東地方のこの時期の平均気温は高い確率が 50%であり、生育が前進化する可能性がある。

だいこんの日別卸売数量と価格の推移
(東京都中央卸売市場)



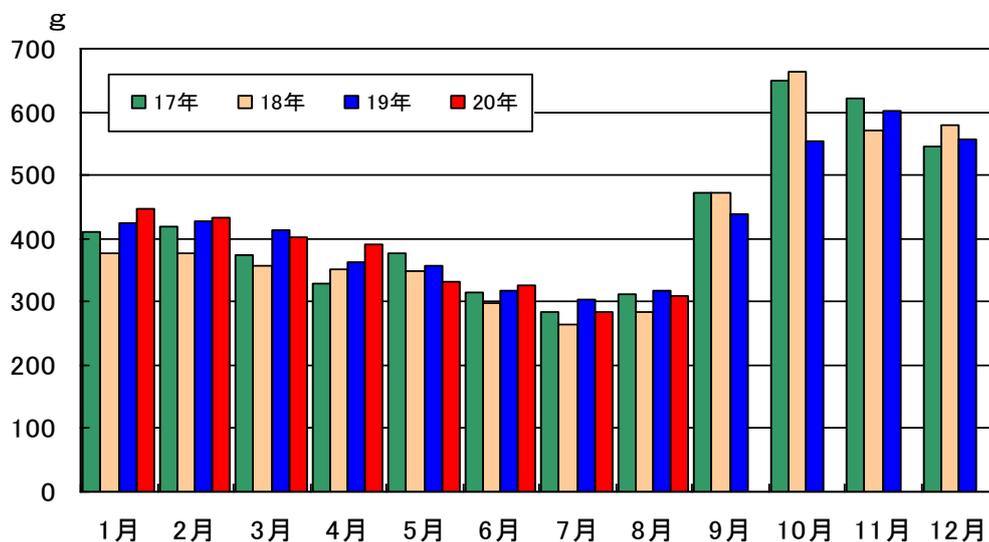
資料：農林水産省統計情報部「青果物日別取扱高統計結果」

2 需要動向

(1) 家計消費

家計調査によるだいこんの一人当たり購入数量をみると、10～12月は非常に多い時期となっている。

だいこんの1人当たり購入量の推移



資料：総務省統計局「家計調査報告」

(2) 加工・業務用需要

だいこんの加工・業務用需要は、全体需要の58%と推定されている。

だいこんの加工・業務用需要の動向

平成2年	平成12年	平成17年
58%	58%	58%

資料：農林水産政策研究所調べ

3 参考

秋冬だいこんの過去における市場隔離等の実施状況

年度	実施時期	実施数量 (t)
S55	12月上旬	244
56	11月中旬	1,014
57	11月中旬～1月下旬	2,376
58	3月上、中旬	3,180
59	12月上旬～3月下旬	1,186
60	3月上、中旬	1,752
61	2月上、中旬	7,985
62		
63	11月中、下旬	591
H元		
2	12月中旬～2月上旬	1,954
3	11月上、中旬	471
4	12月中旬	250
5	12月上旬	350
6		
7		
8	11月中、下旬	641
9	12月上、中旬	5,010
10		
11	11月下旬～2月中旬	3,335
12		
13	11月中旬～3月中旬	3,256
14	10月中旬	150
15	11月上旬～12月中旬	4,518
16	11月上、中旬	866
17	12月上旬	507
18	11月下旬～3月上旬	5,094
19	2月上旬	2,995